

パンのみにて生きるにあらず

シリーズ～さよならキリスト教～

聖書の有名な言葉①

2024/2/11

一般に知られている聖書の有名な言葉

- 「目から鱗が落ちる」
- 「働かざるもの食うべからず」
- 「狭き門より入れ」
- 「求めよさらば与えられん」
- 「豚に真珠」
- 「目には目を歯には歯を」……

一般に知られている聖書の有名な言葉

- 「目から鱗が落ちる」
- 「働かざるもの食うべからず」
- 「狭き門より入れ」
- 「貧乏は与えられん」
- 「豚に真珠」
- 「目には目を」

古い言葉
(文語訳)が
多い!

誤解されて
いることが
多い!

本当の意味を
調べてみましょ
う!

「パンのみにて生きるにあらず」

• 広辞苑

- 「(新約聖書マタイ伝4章による)人は物質的満足を求めて生きるのではなく精神の充実をはかることが大切である。」

• ネットには

- 「パンだけじゃものたりないからジャムを塗れ」、
「パンだけじゃなくご飯もおかずも食べないとね」
という書き込みもあった！

誰もが食うや食わずであった時代に、
この言葉は衝撃だった！

もともとは何と書いてあるか

マタイデーン

馬太傳福音書四章四節

イエス答へけるは

人はパンのみにて生(いく)るものに
非(あ)らず唯(ただ)神の口より
出(い)づる凡(すべて)の言(ことば)に
因(よ)ると録(しる)されたり」

(文語訳／明治訳)

前後を現代の言葉で読んでみよう

さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて荒れ野に行かれた。そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」（新共同訳 マタイ4:1-4）

あえて誘惑(試練)を受けるイエス様

- **バプテスマのヨハネから洗礼を受ける**
 - いわゆる「公生涯」を始められる
- **“(聖)霊”に導かれて荒れ野に行かれる**
 - すぐに活動を始められなかった
 - この世での活動を始める前に受けられた「最終試験」?
- **40日間の断食**
 - 命の危険が迫るほどの断食
 - しかし試験はその後でやってきた

神の言葉によって立ち向かう

- 空腹の絶頂にあったイエス様に、悪魔は石をパンに変えてはどうか、と誘った
 - 神の力を自分のために使わないための試験
- しかしイエス様は旧約聖書(申命記)の言葉を引用して、悪魔の誘惑を退けられた
 - 「主はあなたを苦しめ、飢えさせ、あなたも先祖も味わったことのないマナを食べさせられた。人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きることをあなたに知らせるためであった。」申命記8:3

この言葉の本当の意味

- 正しくは、「イエス答えるは、『人ひとはパンのみにて生るものに非ず **唯神の口より出る凡の言に因る**』と録されたり」
- 「人は物質的な満足を得るだけでなく、~~精神的な支えがあることで、充実した生活を送ることができるというたとえ~~」ではない
- 「人は物質的なものだけでなく、**神の言葉によって養われなければならない**」と言われたのである

神の言葉で誘惑に勝つ

- 悪魔は今でも人類に同じ誘惑をしている
 - 「石をパンに変える」とは欲望のままに手に入れること
 - 人類はこの誘惑に負けていることに気づかない
 - その結果、奪い合い＞格差＞貧困＞飢え＞戦争、の悪循環
- 神の言葉だけがこの誘惑に勝つ武器である
 - イエス様でさえ神の言葉で悪魔に勝利された
 - エデンの園からずっと負け続けている人類へのメッセージである

日本(人)の恐ろしさ・弱さ

- 自分たちに都合の良いところだけを採用し、都合の悪いところは削除する
 - 神(創造主)を意図的に取り除いている
- 真正面から反対はしないが柔らかく拒絶する
 - 主導権を渡したくない(自分こそ正しいと思っている)
- 結果的にただ流されている
 - 「自分は大丈夫だと思っている人が一番だまされやすい」(byオレオレ詐欺犯人)

イエス答へけるは

人はパンのみにて

生るものに非ず

唯神の口より出る

凡の言に因る

と録されたり

(文語訳／明治訳)